



SAITO SHINJO EXHIBITION
齋藤眞成展
佛心の造形

ごあいさつ

龍谷大学は、来る2009(平成21)年に創立370周年を迎えます。これを記念して既に種々の事業を実施しておりますが、今後もさまざまな行事を企画しております。

この度、その記念行事の一つとして、齋藤眞成師の寄贈絵画による展観を開催する運びとなりました。

本学は、仏教の精神、とりわけ親鸞聖人によって開顕された浄土真宗の精神を建学の精神としており、齋藤師の仏教の深い信仰に基づいて制作された作品を、礼拝堂を会場として展観することは、記念行事として誠に相応しいものと存じます。

師は、1998(平成10)年に真如堂第53世貫主に就任されて以来、10年の永きにわたって務められ、卒寿(90歳)を機に今年2月に退任されたと承っています。そして、これを機縁として、本学に作品寄贈のお申し出を頂き、この度の企画が実現いたしました。

師は、1940(昭和15)年3月本学文学部仏教学科をご卒業になり、また1992(平成4)年には龍谷賞を受賞されています。その間、特筆すべきことは、師がまだ無名であった時代からの作品を収集されていた大橋化学工業株式会社(現本社；大阪府茨木市)の創業者・会長であって、現代美術のコレクターとして知られていた大橋嘉一氏が1978(昭和53)年1月に亡くなられ、同年その遺言によってコレクションの一部、7点が本学に寄贈されたことでした。その中には、大変に興味深い師の初期の作品も含まれています。既に91歳になられていますが、ますます創作意欲が旺盛な様子で、今後どのような作品が生み出されるのか本当に楽しみに思うところです。

これまで制作された多くの作品は、ご母堂の故郷山形県鶴岡市の致道博物館をはじめとして国内だけでなく海外にも収蔵されていますが、この度のご寄贈により相当数の作品を本学が収蔵することになりましたことは、誠に光榮であり、深く感謝申しあげる次第でございます。

2008(平成20)年9月

龍谷大学
学長 若原道昭

